

## 〈施策11〉 スポーツに親しみ、競技力を向上させる環境づくり

県民が生涯にわたり気軽にスポーツに親しむことができる環境づくりや、全国大会などで活躍できる選手の育成による本県の競技力の総合的な向上を進めます。

### 【取組項目】

- ▶スポーツ・レクリエーション活動への参加機会の充実など、県民がスポーツに親しむ環境づくりに取り組みます。…………… P87
- ▶各地における総合型地域スポーツクラブの育成支援を行います。…………… P89
- ▶スポーツ科学の活用などによる競技力向上策を推進します。…………… P90
- 総括的評価…………… P91

【取組項目】

▶ **スポーツ・レクリエーション活動への参加機会の充実など、県民がスポーツに親しむ環境づくりに取り組みます。**

■ **取組項目の点検**（平成22年度の具体的な取組状況～主な事業～）-----

(1) **スポーツ・レクリエーション振興事業**（スポーツ健康課）

概要	県民のスポーツ・レクリエーション活動への参加意欲を喚起し、生涯をとおしたスポーツ活動の実践を図るため、県民スポーツ・レクリエーション祭の開催及び全国スポーツ・レクリエーション祭への派遣を行う。		
計画	第3回青森県民スポーツ・レクリエーション祭 参加者数→7,500名(35種目)	実績	第3回青森県民スポーツ・レクリエーション祭 参加者数→7,698名(35種目)

(2) **青森県民駅伝競走大会開催費**(スポーツ健康課)

概要	市町村対抗形式による青森県民駅伝競走大会を青森市で開催する。		
計画	大会参加者数→720名(40市町村)	実績	同左

(3) **平成23年度全国高等学校総合体育大会開催準備事業**（スポーツ健康課）

概要	平成23年度に北東北3県を中心に開催される全国高等学校総合体育大会に向けて準備を行う。		
計画	・大会公式ホームページへのアクセス数→93,000件 ・競技役員等養成事業参加者数→1,500名	実績	・大会公式ホームページへのアクセス数→93,972件 ・競技役員等養成事業参加者数→1,573名

(4) **子どものスポーツ活動推進事業**(スポーツ健康課)

概要	子どものスポーツ活動を促進するための広域的な連携による地域スポーツ施設の有効活用及び地域が連携・協働して行うスポーツ活動に対する支援を行う。		
計画	・スポーツ教室、交流会等の開催 ・指導者講習会の開催 ・地域の指導者や保護者等を対象にしたフォーラムの開催	実績	・スポーツ教室参加者数→10,629名(28教室) ・指導者講習会参加者数→255名(10回) ・フォーラム参加者数→45名

■ **取組項目の評価**（点検結果を踏まえた評価）-----

＜成果＞

- ◆ スポーツ・レクリエーション振興事業では、市町村及び関係団体との連携の下、県民スポーツ・レクリエーション祭【H20～H22】(青森県民生涯スポーツフェスティバル・H3～H18)を開催しており、平成22年度は35種目7,698名が参加し、多くの参加者がスポーツレクリエーションを楽しむことができ、祭典は盛況となった。
- ◆ 県民駅伝競走大会【H5～H22】(陸奥湾一周駅伝競走大会・S58～H4)を開催し、郷土の誇りを胸に競い合い、多くの声援を受けながら、たすきをつなぐことができ、県民の一体感を盛り上げ、活力ある県勢の発展とスポーツ振興を図ることができた。

- ◆ 平成23年度全国高等学校総合体育大会開催準備事業では、大会開催前年度の準備事業として、青森県実行委員会の各専門委員会を中心に、競技会場・競技日程、総合開会式開催要項、宿泊要項、競技種目別大会実施要項等の大会運営に必要な規定・要項を策定した。また、各種広報活動として、屋外広告物の設置、各種啓発グッズの作成、公式ホームページによる情報発信、県内高校生による大会支援活動である一人一役活動として、総合開会式に係る練習会の実施や大会開催300日前及び200日前のPR活動等を実施した。この結果、大会開催準備が順調に進められ、大会開催の周知も図られた。
- ◆ 子どものスポーツ活動推進事業では、22年度・23年度の2か年事業として、県内6地域の推進協議会が主体となって、地域の子どもの対象としたスポーツ活動を展開する子どものスポーツ教室や指導者講習会を実施することなどにより、多くの県民がスポーツに親しむことのできる環境の充実が図られ、スポーツに対する意識も向上するなど、健康で活力にあふれた子どもの育成が促進されている。

#### <課題等>

- ◆ 県民スポーツ・レクリエーション祭では、多くの県民のスポーツ・レクリエーション活動への参加意欲を喚起するため、各種目団体に積極的に参加を呼びかけてもらう必要がある。また、実施種目や市町村によって、参加状況に差があることから、今後は、広報活動を更に充実させるとともに、一般県民が気軽に参加できるような当日参加可能種目を増やすよう種目団体等に呼びかけていく。
- ◆ 県民駅伝競走大会では、これからも各市町村において、選手及び市町村民が一体となって大会を盛り上げ、活力ある県民の発展とスポーツの振興を図る必要がある。
- ◆ 平成23年度全国高等学校総合体育大会開催準備事業では、23年度の開催に向けて、県実行委員会各専門委員会を中心に、総合開会式の式典や公開演技等の具体的準備、競技役員や補助員の編成など競技種目別大会運営計画の作成等に取り組むため、北東北三県、会場の県内5市実行委員会、県高体連などの関係機関・団体と連携を図りながら、準備を進める必要がある。
- ◆ 子どものスポーツ活動推進事業では、地域指導者を有効に活用したスポーツ教室、交流大会実施のために、計画、実施時期を早めることや指導者の意識を高めるための研修会を拡大、継続する必要がある。

【取組項目】

▶ 各地における総合型地域スポーツクラブの育成支援を行います。

■ 取組項目の点検（平成22年度の具体的な取組状況～主な事業～）

(1) 広域スポーツセンター運営事業（スポーツ健康課）

概要	スポーツやレクリエーションをとおした世代間交流の場として、地域の教育力を高めることが期待できる総合型地域スポーツクラブの設立・運営の支援及び啓発を行う。		
計画	・出前講座や研修会等を実施し、クラブの設立・運営について支援する。	実績	・県内のクラブ数→22クラブ ・県内の設立準備組織数→9組織(9市町村)

■ 取組項目の評価（点検結果を踏まえた評価）

<成果>

- ◆ 広域スポーツセンター運営事業(H19～)では、県内の市町村を訪問し、総合型地域スポーツクラブの設立及び育成指導を行うとともに、クラブ間交流による運営体制の強化と、総合型地域スポーツクラブの普及・啓発を図ることを目的とした総合型地域スポーツクラブパワーアップ研修を行ったところ、設立準備中も含めたクラブ数は31クラブへと増加した。

<課題等>

- ◆ 本県の総合型地域スポーツクラブの市町村設置率は全国平均を大きく下回っている(H22.7.1現在、本県55.0%、全国71.4%)ため、設置されていない市町村には積極的に訪問し、設置に向けて助言・指導していく必要がある。

一口メモ

総合型地域スポーツクラブとは？

総合型地域スポーツクラブは、「誰でも」「いつでも」「世代を超えて」「好きなレベルで」「いろいろなスポーツを」楽しめる地域のコミュニティです。

地域住民の皆さんのアイディアによって、自主的に運営されるため、クラブのメンバー構成や実施される種目はクラブによってさまざまです。地域の特徴を活かし、地域の皆さんのニーズに合ったクラブを創ることが可能です。

また、地域住民の皆さんが、スポーツを通じて交流することによって、地域における「人づくり」や「まちづくり」に貢献することができます。

【取組項目】

▶スポーツ科学の活用などによる競技力向上策を推進します。

■ 取組項目の点検（平成22年度の具体的な取組状況～主な事業～）

(1) 競技力向上事業（スポーツ健康課）

概要	本県の競技力向上を図るため、選手の強化事業に対して補助する。		
計画	・国体・東北総体への選手等の派遣 ・全国中学校体育大会への選手等の派遣 ・全国高校体育大会への選手等の派遣	実績	・国体・東北総体派遣→1,552名 ・全国中学校体育大会派遣→377名 ・全国高校体育大会派遣→2,848名

(2) インターハイ選手強化対策事業（スポーツ健康課）

概要	平成23年度に北東北三県を中心に開催されるインターハイに向け、各種目の有望選手を対象とした強化事業に対して補助するほか、青森県スポーツ科学センターを活用した心理サポートを行う。		
計画	・拠点強化合宿→13競技22回 ・アスリート招へい強化合宿→22競技49回	実績	・拠点強化合宿→13競技25回 ・アスリート招へい強化合宿→21競技46回

■ 取組項目の評価（点検結果を踏まえた評価）

<成果>

- ◆ 競技力向上事業【(H3～H22)国体・東北総体・中、高等学校全国大会に向けた選手強化に対する補助】では、本県の競技力向上を図るため選手強化の事業に対し補助してきた結果、国体の入賞者数は増加した。
- ◆ インターハイ選手強化対策事業では、21年度・22年度の2か年の事業として、平成23年度に北東北3県を中心に開催されるインターハイにおいて、本県選手が活躍し、県民に明るい話題をもたらすことを目的に、各種目の有望選手に対し、強化対策を実施することとし、高体連専門部及び各競技団体に対し、各競技の特性を生かした選手強化の支援を行った。

<課題等>

- ◆ 全国規模の総合体育大会における本県選手の入賞者数は、飛躍的に増加しているとは言えず、今後もさらなる競技力向上施策が必要である。
- ◆ インターハイ選手強化対策事業を受け、平成23年度には、各種目の有望選手及び大会出場選手を対象としたインターハイ選手特別強化事業を実施し、入賞者の増加を図るために、さらなる選手強化に取り組む必要がある。

## ○総括的評価

### スポーツに親しみ、競技力を向上させる環境づくり

- 「週1回以上スポーツをする成人の割合」は全国平均を下回っており、また、少子化や指導者及び施設の不足により、子どもたちの活動可能な競技種目が限られている。多くの県民が気軽にスポーツ活動に取り組む機会の充実に引き続き努めるとともに、広域的・組織的に子どもたちのスポーツ活動を推進し、子どもたちがスポーツに親しむ機会の充実に努める必要がある。
- 本県のスポーツ振興には、競技人口の減少や指導者不足、子どもたちの体力低下、県有体育施設の老朽化などの課題があるため、スポーツ環境の充実に向け、体力向上、地域活性化、選手・指導者の育成、施設の整備等について調査検討を進める必要がある。
- 本県の総合型地域スポーツクラブの市町村設置率は全国平均を大きく下回っており、総合型地域スポーツクラブが各地域に設立され、地域活性化につながるよう、人材育成や普及啓発等の支援に取り組む必要がある。
- 全国規模の総合体育大会における本県選手の入賞者数は、飛躍的に増加しているとは言えない状況である。また、県民に夢と感動を与える世界の舞台等で活躍するトップアスリートの育成が必要である。競技力の向上を図るため、選手の底辺拡大を図るとともに、高校生の選手育成・強化を推進することが必要であり、また、スポーツ科学を応用したトップアスリートの育成支援を推進する必要がある。

#### <参考データ>

